

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2015年8月6日から2019年4月23日（償還日）（当初2022年8月8日）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「世界金融機関ハイブリッドマザーファンド」の受益証券。
	世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	国内外の主要金融機関が発行したユーロ建て・米ドル建ての優先出資証券、劣後債等。
主な組入制限	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンド受益証券への投資割合は、制限を設けません。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・優先出資証券および劣後債への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は制限を設けません。
	世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・優先出資証券、劣後債への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年4回(原則として2月、5月、8月および11月の6日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。原則として毎決算日に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。	

CAM世界金融機関 ハイブリッド・ファンド (為替ヘッジなし)(3ヶ月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

償還運用報告書(全体版) 繰上償還(第8作成期)

第15期 償還日：2019年4月23日
作成対象期間：2019年2月7日～2019年4月23日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、「CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジなし)(3ヶ月決算型)」は、投資信託約款の規定に基づき2019年4月23日に償還となりました。ここに、期中の運用状況と償還内容についてご報告申し上げます。当ファンドをご愛顧賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目16番1号いちご神田錦町ビル5階
＜ お問い合わせ先 ＞

【電話番号】 03-5259-7401
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

【ホームページ】 <http://www.capital-am.co.jp/>

◆ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		
第1作成期	(設定日) 2015年8月6日	円 10,000	円 —	% —	百万円 2
	1期(2015年11月6日)	9,713	0	△ 2.9	88.0
	2期(2016年2月8日)	9,270	0	△ 4.6	96.9
第2作成期	3期(2016年5月6日)	8,702	0	△ 6.1	92.8
	4期(2016年8月8日)	8,369	0	△ 3.8	98.0
第3作成期	5期(2016年11月7日)	8,485	0	1.4	74.5
	6期(2017年2月6日)	9,088	0	7.1	75.4
第4作成期	7期(2017年5月8日)	9,322	0	2.6	79.0
	8期(2017年8月7日)	9,449	0	1.4	80.2
第5作成期	9期(2017年11月6日)	9,761	0	3.3	76.0
	10期(2018年2月6日)	9,508	0	△ 2.6	88.2
第6作成期	11期(2018年5月7日)	9,278	0	△ 2.4	65.2
	12期(2018年8月6日)	9,396	0	1.3	87.9
第7作成期	13期(2018年11月6日)	10,404	0	10.7	89.5
	14期(2019年2月6日)	10,067	0	△ 3.2	66.7
第8作成期	(償還日) 15期(2019年4月23日)	(償還価額) 9,770.90		△ 2.9	—

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額は1万円当たり。(基準価額の全てに共通)

(注3) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率と組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

◆ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

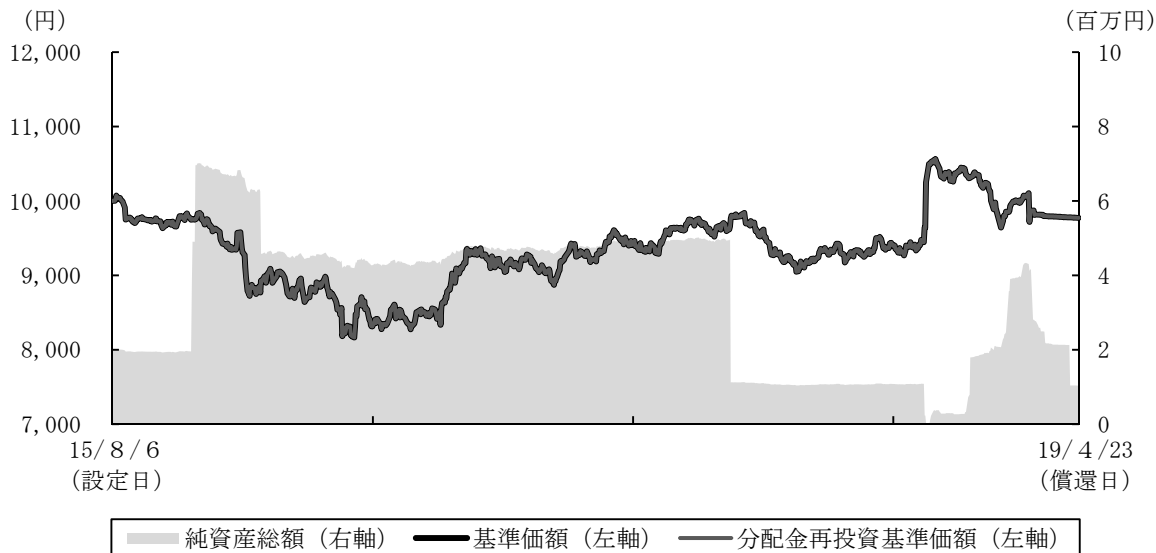
決算期	年 月 日	基準価額		債券組入比率
			騰落率	
第15期	(期首)2019年2月6日	円 10,067	% —	% 66.7
	2月末	9,814	△ 2.5	—
	3月末	9,785	△ 2.8	—
	(償還日)2019年4月23日	(償還価額) 9,770.90	△ 2.9	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

◆ 運用経過の説明 ◆

● 基準価額の推移 (2015年8月6日(設定日)～2019年4月23日(償還日))



設定日： 10,000円

償還時： 9,770円90銭 (通期分配金0円)

騰落率： $\Delta 2.3\%$ (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因 (2015年8月6日(設定日)～2019年4月23日(償還日))

繰上償還日の基準価額は9,770円90銭となり、設定日以来の騰落率は -2.3% となりました。運用期間全体に亘って、米ドル建てハイブリッド証券は -2.1% 、ユーロ建てハイブリッド証券は -1.7% 、基準価額(分配金込み)を低下させる要因となりました(大規模な解約に伴う売却損を含みます)。また、当ファンドでは為替ヘッジ取引を行っていませんので、米ドル/円レートの変動が $+2.0\%$ 、ユーロ/円レートの変動が -0.3% 、基準価額を変動させる要因となりました。この他に信託報酬その他費用等が影響を与えることになりました。

※ ハイブリッド証券とは、優先出資証券、劣後債等を指します。

● 投資環境（2015年8月6日（設定日）～2019年4月23日（償還日））

（債券市場）

米国債券市場での指標銘柄である国債10年物利回りは、2015年8月の当ファンドの設定時には2.4%台でした。FRBによる金融緩和を反映し、2016年7月には1.3%台を付けました。その後トランプ政権の誕生と共に、米国経済の回復とFRBによる複数回の利上げを受けて金利は上昇し、2018年11月には3.2%台まで上昇しましたが、12月のグローバルな株価急落を受けてFRBは利上げを停止し、ハト派スタンスに転換したことから金利低下となり、2.57%で2019年4月23日の繰上償還日を迎えました。

一方、欧州債券市場の指標と考えられるドイツ国債10年物利回りは、当ファンドの設定時には0.7%台を付けていましたが、欧州金融不安による安全資産買いの動きから急速に利回り低下が進み、2016年にはマイナス金利に突入し、7月に-0.19%で底を付けました。その後は、米国経済の回復が徐々に欧州にも波及し、株式買い・債券売りが続き、2018年2月には0.7%台まで上昇しましたが、ECBによる緩和縮小や米国景気のスローダウンを受けて欧州も急速に景気鈍化し、再度マイナス金利に突入した後、0.04%で繰上償還日を迎えました。

（為替市場）

当ファンド設定時のドル・円レートは、1ドル124円台でした。その後、2016年に入ると欧州金融不安等の要因から、一旦8月には100円を切る水準まで円高が進行しましたが、予想外と見られていたトランプ大統領が当選し、急速に米ドルが買われ、12月には118円台を付けました。その後は105円から115円までのレンジ内の動きが続き、ドル・円レートは111円台で2019年4月23日の繰上償還日を迎えました。

一方、設定時に136円台であったユーロ・円レートは、欧州金融不安を受けたユーロ売りが進み、2016年7月には111円台まで円高が進みました。その後は徐々に欧州金融不安が落ち着きを見せ、2018年2月には137円台まで円安が進みましたが、欧州景気が鈍化するにつれて円高方向で推移し、125円台で繰上償還日を迎えました。

● **当該投資信託のポートフォリオ**（2015年8月6日（設定日）～2019年4月23日（償還日））

当ファンドは設定以来、世界金融機関ハイブリッドマザーファンドを通じて、大手金融機関の発行する米ドル建てハイブリッド証券及びユーロ建てハイブリッド証券等に投資を行って参りました。設定後、欧州金融不安が高まった時期には米国金融機関や米ドル建てのハイブリッド証券の比率を高め、欧州金融不安が解消されると慎重に欧州金融機関への投資を再開する等、適切なポートフォリオの管理に注意を払って参りました。繰上償還の実施に際して、保有しておりました債券ポートフォリオを全て売却致しましたが、その直前におけるポートフォリオの構成は、米ドル建てハイブリッド証券を純資産の69%、ユーロ建てハイブリッド証券を10%、となっております。

● **当該投資信託のベンチマークとの差異**

当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

◆ 当作成期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	36円	0.371%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率です。なお、作成期中の平均基準価額は9,811円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.135)	・ 委託した資金の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.225)	・ 運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	129	1.318	(b) その他費用は作成期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(保 管 費 用)	(129)	(1.318)	・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
合 計	166	1.688	

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◆ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2019年2月7日から2019年4月23日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 3,790	千円 3,534

(注) 単位未満は切捨て。

◆ **主要な売買銘柄** (2019年2月7日から2019年4月23日まで)

世界金融機関ハイブリッドマザーファンドにおける公社債の売買

当 作 成 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
		ウェルズ・ファーゴ 5.9%	11,100
		モルガン・スタンレー 5.45%	11,060
		ゴールドマン・サックス 5.3%	10,815
		バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 4.5%	10,155
		HSBC 10.176%	9,535
		パークレイズ 4.75%	8,878
		JPモルガン・チェース Float	7,062

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

◆ **利害関係人との取引状況等** (2019年2月7日から2019年4月23日まで)

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ **組入資産の明細** (2019年4月23日現在)

組入有価証券はありません。

◆ 投資信託財産の構成 (2019年4月23日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,046	% 100.0
投資信託財産総額	1,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

◆ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2019年4月23日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	1,046,328円
コール・ローン等	1,046,328
(B) 負 債	8,969
未払信託報酬	8,967
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	1,037,359
元 本	1,061,682
償還差損益金	△ 24,323
(D) 受益権総口数	1,061,682口
1万口当り償還価額(C/D)	9,770円90銭

<注記事項>当運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 期首元本額	4,295,063円
期中追加設定元本額	32,173円
期中一部解約元本額	3,265,554円

◆ 損益の状況

当期：自 2019年2月7日 至 2019年4月23日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 39円
受 取 利 息	25
支 払 利 息	△ 64
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 22,295
売 買 益	50,451
売 買 損	△ 72,746
(C) 信 託 報 酬 等	△ 8,967
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 31,301
(E) 前期繰越損益金	191
(F) 追加信託差損益金	6,787
(配当等相当額)	(112,065)
(売買損益相当額)	(△ 105,278)
(G) 合 計(D+E+F)	△ 24,323
償 還 差 損 益 金(G)	△ 24,323

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

◆ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年8月6日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年4月23日		資産総額	1,046,328円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	8,969円
受益権口数	2,000,000口	1,061,682口	△938,318口	純資産総額	1,037,359円
				受益権口数	1,061,682口
元本額	2,000,000円	1,061,682円	△938,318円	1万口当たり償還金	9,770円90銭
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,000,000円	1,942,671円	9,713円	0円	0.00%
第2期	7,131,589円	6,611,192円	9,270円	0円	0.00%
第3期	5,133,250円	4,467,031円	8,702円	0円	0.00%
第4期	5,135,617円	4,298,089円	8,369円	0円	0.00%
第5期	5,137,397円	4,359,324円	8,485円	0円	0.00%
第6期	5,138,645円	4,670,038円	9,088円	0円	0.00%
第7期	5,151,107円	4,801,782円	9,322円	0円	0.00%
第8期	5,139,384円	4,856,193円	9,449円	0円	0.00%
第9期	5,139,384円	5,016,759円	9,761円	0円	0.00%
第10期	1,147,180円	1,090,760円	9,508円	0円	0.00%
第11期	1,147,503円	1,064,618円	9,278円	0円	0.00%
第12期	1,148,140円	1,078,822円	9,396円	0円	0.00%
第13期	256,595円	266,973円	10,404円	0円	0.00%
第14期	4,295,063円	4,323,867円	10,067円	0円	0.00%

◆ ごあいさつ ◆

当ファンドは2019年4月23日をもって繰上償還を迎えました。

これまでの受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

世界金融機関ハイブリッドマザーファンド

償還運用報告書

第 4 期

(償還日：2019年4月22日)

(作成対象期間：2018年8月7日～2019年4月22日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	2015年8月6日(設定日)から2019年4月22日(繰上償還)まで
運用方針	信託財産の安定した収入の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な運用対象	国内外の主要金融機関が発行した米ドル建て・ユーロ建ての優先出資証券、劣後債等
主な投資制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 優先出資証券、劣後債への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

◆ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組入比率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率		
(設 定 日) 2015年 8 月 6 日	円 10,000	% —	% —	百万円 26
1 期 2016年 8 月 8 日	8,461	△15.4	98.6	313
2 期 2017年 8 月 7 日	9,775	15.5	86.4	276
3 期 2018年 8 月 6 日	9,787	0.1	91.9	119
(償 還 日) 2019年 4 月 22 日	(償還価額) 9,305.02	△ 4.9	—	7

(注1) 基準価額は1万円当たりです。(基準価額の全てに共通)

(注2) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注3) 適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

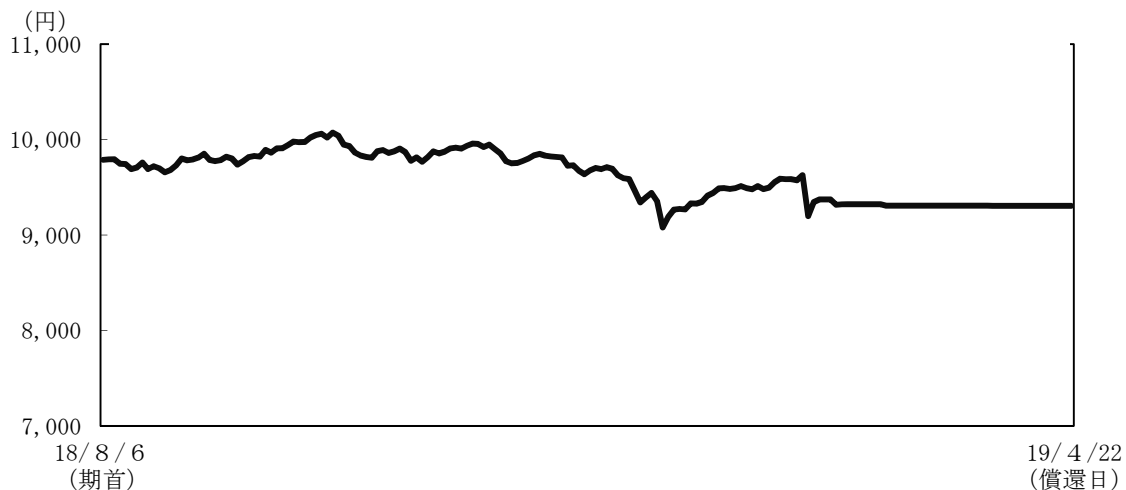
◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首) 2018年 8 月 6 日	円 9,787	% —	% 91.9
8 月 末	9,786	△ 0.0	98.4
9 月 末	10,020	2.4	97.8
10 月 末	9,877	0.9	92.9
11 月 末	9,822	0.4	85.4
12 月 末	9,353	△ 4.4	72.4
2019年 1 月 末	9,480	△ 3.1	79.1
2 月 末	9,321	△ 4.8	—
3 月 末	9,306	△ 4.9	—
(償 還 日) 2019年 4 月 22 日	(償還価額) 9,305.02	△ 4.9	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

◆ 基準価額の推移 (2018年8月7日～2019年4月22日 (償還日))



◆ 1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期
(a) その他費用 (保管費用等)	44円 (44)
合 計	44

(注) 費用項目の概要及び注記については、5頁の費用明細をご参照下さい。

◆ 期中の売買及び取引の状況 (2018年8月7日から2019年4月22日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	米ドル建て	アメリカ	優先出資証券	千米ドル 104 (35)
			劣後債	千米ドル 631 (100)
国	ユーロ建て	その他	優先出資証券	千ユーロ 70 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 主要な売買銘柄 (2018年8月7日から2019年4月22日まで)

公社債

買付銘柄	金額	売付銘柄	金額
	千円		千円
		BNP パリバ 7.195%	11,522
		ウェルズ・ファーゴ 5.9%	11,100
		モルガン・スタンレー 5.45%	11,060
		ゴールドマン・サックス 5.3%	10,815
		バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 4.5%	10,155
		HSBC 10.176%	9,535
		バークレイズ 4.75%	8,878
		JPモルガン・チェース Float	7,062
		シティグループ 5.95%	5,960
		シティグループ 6.3%	4,464

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 利害関係人との取引状況等 (2018年8月7日から2019年4月22日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 組入資産の明細 (2019年4月22日現在)

組入有価証券はありません。

◆ 投資信託財産の構成 (2019年4月22日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 7,428	% 100.0
投資信託財産総額	7,428	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

◆ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2019年4月22日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	7,428,731円
コール・ローン等	7,428,731
(B) 負 債	19
未 払 利 息	19
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	7,428,712
元 本	7,983,550
償 還 差 損 益 金	△554,838
(D) 受 益 権 総 口 数	7,983,550口
1万口当り償還価額 (C / D)	9,305円02銭

<注記事項>

- (1) 期首元本額 121,756,382円
 期中追加設定元本額 5,751,834円
 期中一部解約元本額 119,524,666円
- (2) 期末における元本の内訳
- | | |
|---------------------------------------|------------|
| CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジあり)(3ヶ月決算型) | —円 |
| CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジなし)(3ヶ月決算型) | 1,057,506円 |
| CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジあり) | 6,924,571円 |
| CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジなし) | 1,473円 |

◆ 損益の状況

当期：自 2018年8月7日 至 2019年4月22日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	2,392,835円
受 取 利 息	2,395,814
支 払 利 息	△ 2,979
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,357,609
売 買 益	117,951
売 買 損	△ 4,475,560
(C) 信 託 報 酬 等	△ 323,543
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 2,288,317
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,598,698
(F) 解 約 差 損 益 金	4,514,011
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 181,834
(H) 合 計 (D + E + F + G)	△ 554,838
償 還 差 損 益 金 (H)	△ 554,838

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。